

(仮訳)

ロシアのウクライナに対する侵略戦争の世界的影響及びウクライナ、
影響を受けた周辺諸国とグローバル・サウス諸国に対するG7の包括的支援に関する
G7開発大臣声明

(2022年5月19日)

1. 我々、G7の開発大臣は、ロシアがウクライナに対して継続し、ベラルーシ政府により容易にされた、不当な、いわれのない、不法な侵略戦争と、ロシア軍による民間人に対する残虐行為と攻撃とを最も強い言葉で非難する。ロシアの侵略戦争は、国際法の直接の違反であり、国連憲章の中核的な理念を損ねている。我々は、ロシア軍とその代理勢力による残虐行為及び、民間人の殺害、民生インフラの破壊を非難する。ウクライナの主権と完全な領土一体性を全面的に支持し、ロシアによる侵略と闘う同国国民に寄り添うと同時に、この戦争の犠牲者とその御家族に深い哀悼の意を表明する。
2. 特に、G7首脳、G7農業大臣、G7財務大臣・中央銀行総裁及びG7外務大臣による作業を踏まえ、我々は、ロシアとその代理勢力に対する、侵略に直接対応する制裁や輸出規制を含む全ての適切な制限的措置に対する我々G7の全面的支持を再確認する。我々は、これらの措置が、ロシアに向けられたものであり、食料及び農業投入物の不可欠な輸出を対象とするものではないことを強調し、商品価格の不安定さが高まっている中で、世界の食料及び商品価格の更なる高騰を引き起こしたのは、ロシアの侵略戦争であることを想起する。
3. G7開発大臣として、我々は、多数の民間人を含む人命の悲劇的な喪失と、学校、病院、空港、発電所、倉庫を含む民生・公共インフラの意図的かつ包括的な破壊の証拠によって、今後数年間にわたるウクライナの経済・社会の発展を破壊し、環境に破壊的影響を及ぼすことを、引き続き深刻に懸念している。
4. したがって、我々は、ウクライナに対する短期、中期及び長期の財政的・技術的支援を継続することにコミットし、効果的かつ協調的な方法で長期的な経済・社会の復興に向けた自治体やホスト・コミュニティ、公的セクターの取組を直接強化する。我々は、欧州連合による「Rebuild Ukraineファシリティ」の発表、ウクライナのための国際通貨基金の管理勘定の設立、世界銀行グループによるウクライナへの支援パッケージといった、ウクライナを支援するための国際社会の取組を歓迎し、G7として、ウクライナ及び我々の国際パートナーとの密接な連携の下、我々の将来の取組を調整し連携させる用意がある。我々は、全ての国及び国際機関に対し、ウクライナに対する適切な支援を確保するための我々の取組に参加するよう求める。
5. ロシアによる侵略戦争に対するその勇氣ある抵抗を踏まえ、我々は、国際社会によるウクライナの早期復旧及び長期的復興の取組において、ウクライナの強い声が重要であることを強調する。同国の基礎的な社会・公共インフラ、都市、産業・農業施設の甚大な破壊を認識し、我々は、G7開発大臣として、気候や環境の影響に対する強靱性が確保された、バランスのとれたグリーンな復興に向け、ウクライナ経済の再建と復興を支援する用意がある。自由で民主的なウクライナの再建とその周辺諸国への我々の支援、特に多国間パートナーシップを通じた支援を、引き続き緊密に連携させていくことが不可欠である。

6. ウクライナとその社会の経済的・社会的復興は包括的な長期的プロジェクトである一方、我々は、同国内に散在する国内避難民の緊急及び中期的ニーズへの対応などを含む支援を迅速に支出することに引き続きコミットする。ウクライナから周辺諸国に避難した600万人以上の難民を含め、1400万人以上の人々が住む場所を奪われた。我々はウクライナ政府と協力し、短期的・中期的な住宅の提供、民生・エネルギーインフラの再建及び、避難民及び影響を受けた人々に対する心理的・社会的、保健、教育、社会保護支援などの幅広い支援サービスへのアクセス強化のための支援を向上させる。

7. 我々は、ロシアの侵略戦争によってウクライナの保健システムが大きく混乱し、何百もの病院や保健施設が攻撃によって意図的に損傷・破壊され、何千人もの医療従事者が避難していることを強調する。現在、数百万人の避難民が保健サービスへのアクセスを制限されているか、アクセスがない状態にあり、救命治療の中断により人々が亡くなっている。我々は、ウクライナ国民の健康を公衆衛生の脅威から守り、必要不可欠で変化する保健医療ニーズに対応し、攻撃によって影響を受け、危機によって緊張した保健システムの回復を促すために、ウクライナ政府が継続的に行う努力を支援することにコミットする。

8. G7諸国は、女性の権利団体・運動も含むウクライナの市民社会とその人々の断固とした強靱性に敬意を表し、権威主義的政権による外部からの不安定化に対して、パートナーシップを含め強固で強靱な社会を構築する重要性を認識する。我々は、自己決定権、民主主義、人権及び法の支配を支持するためのより広範な闘いの一環として、ウクライナ国民の英雄的な抵抗を支持する。これらの価値観は、G7によって明白に共有され支持されている。したがって、我々は、ウクライナが欧州の家族に属しその共通の一連の価値観に共有することに留意し、ウクライナの欧州における願望を認識する。

9. 我々は、ウクライナがその影響の矢面に立っている一方で、ロシアの侵略戦争の社会的・経済的影響が周辺諸国にも及んでいることを認識する。したがって、我々は、G7として、同国の周辺諸国及び同地域の我々のパートナーに対して継続的な支援を行う。特に、我々は、ウクライナから逃れてきた避難民を受け入れている全ての国々の連帯と努力に強く感謝する。特にモルドバはこの避難民の移動を経験しており、ウクライナから逃れてきた避難民を保護する努力において支援されなければならない。更に、モルドバとジョージアは、長期的な社会・経済、政治及び経済の安定化において、また、外部の不安定化に対してより強靱になるよう支援されなければならない。

10. 我々は、包囲された地域から逃れることができない人々に加え、人権擁護者、独立ジャーナリスト、知的または身体障害者、少数民族、LGBTQI+の人々、高齢者など、ウクライナ及び周辺諸国において危険にさらされ、特に脆弱な人々の権利を保護することの必要性を強調する。我々は、特に、取り残されたまま支援を打ち切られ、救命のための支援を受けられずにいる人々について懸念している。

11. G7開発大臣として、我々は、パンデミック、気候変動、生物多様性の喪失、経済的困難及びその他の紛争によりもたらされた既に悲惨な状況の影響を受けているグローバル・サウスのパートナー諸国の政治体制及び国民に、ロシアの侵略戦争が更なる困難としてのしかかっており、それら諸国に短期的・長期的な影響がでることを認識する。ロシアのウクライナに対する侵略戦争は、世界のサプライチェーンの混乱を深刻化させ、不可欠な鉱物資源、化石燃料及びエネルギーサービスだけでなく、農産物や食料

品、肥料の価格上昇をも引き起こし、既に緊張状態にある世界の食料安全保障の状況を悪化させている。このような背景のもと、我々は、2030年までに持続可能な開発目標の達成を加速させるという道筋において、継続的な支援を行うことを再確認したい。

12. 我々は、ロシアの侵略戦争が、地域及び世界の食料不安と栄養不良、地域内外での貧困及びその他の不平等を増大させ、とりわけ既存の人道危機の影響を受けている国々に与える世界的な影響を特に懸念している。その結果、世界の食料不安と栄養不良が更に悪化し、最大4000万人が食料不安のレベルの上昇に直面する可能性がある。我々は、3月1日及び5月14日のG7農業大臣声明を全面的に支持し、G7外務大臣による「ロシアによるウクライナに対する侵略戦争が世界の食料安全保障に及ぼす影響に関するコミットメント」を歓迎する。

13. 我々は、グローバル・サウスのパートナー諸国への継続的な支援の提供を含め、進行している世界的な食料安全保障の危機を予防し、これに対処するために必要な措置を行うとの変わらぬ決意を持ち、食料安全保障と栄養に対処するため、全てのステークホルダーの手段及び資金調達メカニズムを整合的に活用する。我々は、国連の「食料・エネルギー・資金に関するグローバル危機対応グループ」を支持し、また、「食糧農業強靱化ミッション」(FARM)やアフリカや地中海沿岸諸国向けなど主要な地域支援活動などの様々な国際イニシアティブで計画されている通り、政治コミットメントを具体的行動として実施することを目指し、G7開発大臣会合で正式に発足した、「食料安全保障のためのグローバル・アライアンス」などの取組を通じ、世界の食料危機の原因と結果に対処する。グローバル・アライアンスは、差し迫った世界的食料危機との闘いにおいて、主導し、また迅速で柔軟な協力に関与することを望んでいる同志国及びプレイヤーを結集させる。我々は、危機を予測し対応するため、また危機に対する強靱性を強化するために、増強され、優先された支援を通じ、全ての人道支援と開発支援のステークホルダーが首尾一貫して取り組むことが人道危機にある国々を、悪化する食料不足と栄養不足から守るために重要であることを強調する。我々は、2022年及びそれ以降に予想される危機の局面により良く対処するために、この危機を政治的アジェンダに据え続け、我々の支援を調整し、政治的助言を行い、先見性のあるシナリオを提供する。

14. 我々は、食料、商品及びエネルギー価格の高騰が、世界の脆弱性と不安定性を促進する可能性があることを強調する。食料価格のインフレは、購買力を低下させ、貧困を拡大させるため、特に貧困層にとって大きな懸念事項である。食料価格の上昇は、肥料などの投入コスト上昇と相まって、将来の農業生産性を脅かす。したがって、我々は、化石燃料への依存の低減を加速し、公正なエネルギー移行の進展を維持するためのパートナー国の取組を支援する。我々は、社会的・経済的危機の前・間・後において、地域の持続可能な農業・食料システムや社会的セーフティネットの強化を含め、パートナー国の外部からの要因に対する強靱性を高めることにコミットしている。現在の危機において、強力で協調的な開発協力は、近い未来、中期的、及び長期的に安定させることができる。

15. 我々はまた、この侵略戦争と世界中の紛争が、男性や男児だけでなく、女性や女児に過度の影響を与えることを強調する。女性と子どもは、紛争に関連した性的暴力、搾取、虐待を含むジェンダーに基づく暴力の重大なリスクと、生命を救う性と生殖に関わる保健サービスへのアクセスの不足に直面し、戦争の社会・経済的影響により不釣り合いに苦しんでいる。この文脈で、我々は、全ての人の性と生殖に関する権利を保護し、

また、特に女性と女兒、LGBTQI+の人々のための、性と生殖に関する保健サービスへのアクセス及び性とジェンダーに基づく暴力と人身取引の被害者と生存者への援助を増やすために支援することにコミットする。最前線及びコミュニティにおける女性の重要な役割と貢献を認識し、我々は、ウクライナ及びホスト国の女性及び女兒を対象とした支援を提供することに共同でコミットする。同時に、G7は、女性の完全で、効果的かつ平等で意味のある参加を促進し、平和の積極的な担い手として、また同国の長期的な復旧・復興における重要な担い手としての女性の役割を強化することにコミットする。平和構築における若者の具体的な役割についても、紛争において戦闘に参加している男女の動員解除及び社会復帰にとどまらず、今後検討されなければならない。

(了)